



じどう  
児童のみなさんへ

10月に入っても暑い日が続いていますね。運動会の練習も始まったので、みんなの体調のことを考えると、校長先生は早く涼しくなってほしいと思っています。応援団とリレーの選手の人たちは、昼休みも練習をがんばっていますね。昨年の運動会も、応援団の人たちのがんばりのおかげでとても盛り上がりました。体調管理に気を付けてあと一週間、がんばってください。

さて、今日は前期の通知表をもらいましたね。どうでしたか？先生たちは、みなさんのがんばりをよくみて通知表を準備しました。校長先生は、全員の通知表を見ましたが、そこに書かれている文章からみんながたくさんのことを学んだり、がんばったりしたことがよくわかりました。今日は、おうちの人に通知表を見せて自分がどれだけががんばったか、教えてあげてくださいね。勉強だけでなく、みなさんは先生たちのいうことをよく聞いて、感染症予防のためにがんばりました。そのおかげでクラスターが発生することなく無事に今日まで来ました。

「先生に言われたことを守る」一番大事なことができたみなさんは、本当にすばらしいと思います。10月5日は「教師の日」でした。手紙を書いてくれたみなさん、ありがとうございます。先生たちはとってもうれしかったと思います。

## 保護者の皆様へ

本日お子様に通知表をお渡ししました。通知表の見方について少し説明をいたします。

○「学習の記録」については、各教科◎・○・△で評価します。

◎…「十分満足できる」状況と判断されるもの

○…「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

△…「努力を要する」状況と判断されるもの

昨年度から評価の観点が3つに変更されました。全体的に見た感じでは、低学年は「◎」が多くついていましたが、学年が上がるにつれて「◎」の数が少なくなっていました。学習したほとんどの単元の評価で「◎」でなければ、通知表の評価は「◎」になりません。したがって「◎」が付いている項目は、とてもよくできているということです。ゆりのき学級のお子様の通知表は、昨年度より、八千代市で新しく作成された特別支援学級用の通知表の形式を使用しています。評価については、すべての項目で文章により記載しています。

○「行動の記録」については、特によくできている項目に「○」が付いています。

ですから、全部の項目に「○」がついているお子さんはいません。「○」が付いていないから「できていない」のではなく、すごくがんばってよくできた項目に「○」が付いているということです。

いずれにせよ、子供たちはコロナ禍で、たくさん我慢を強いられる学校生活の中でも決して笑顔を絶やさず健気に毎日がんばってきました。それだけで十分称賛に値すると思います。今日はお子様をしっかりほめてあげてください。

さて、今週の話題は真鍋淑郎さんの「ノーベル物理学賞」受賞でしょう。「地球温暖化を予測する地球気候モデルの開発」が受賞理由らしいですが、まさにSDGsの先駆者とも言えるということでしょうか。研究内容は詳しくわかりませんが、新聞やテレビを見ると奥様のことが話題になっていて、私はそっちの方に目がいてしまいました。奥様が「主人は研究だけしていればいいように、私が家のこととか子供たちのことは全部やって来たんですから、当然このノーベル賞は二人でとったものだと思っています。」と言われているのを聞き、「さすがだな。」と思いました。私も主人には一生懸命仕事をしてもらって、私は家のことをがんばれば良いと考えたこともあります。仕事をしながらだとなかなかそうはいかず、「なんでいつも私ばかり…」と思うことが多かったような気がし

ます。だけど、家にいたからと言って私はおいしいお料理を毎日作れないだろうし、たとえ私がおいしいお料理を毎日作ったところで主人は「ノーベル賞」なんて絶対にもらうこともないので、まあ落ち着くところに落ち着いたのだと思っています。

教師の日に保護者の方からメッセージカードをいただき、改めて「ありがとう」という言葉の力を感じました。人から感謝されるって本当にうれしいことですよ。今回ノーベル物理学賞を受賞された真鍋さん夫婦はお互いをリスペクトし合い、お互いに感謝の気持ちをもっていらっしゃるようです。90歳と80歳になっても愛のある夫婦なんだと思いました。それに比べて我が家はどうでしょう。お互い「虫メガネで『愛』を探さないと見付からないよ！」って感じですよ。

しかし、今週は帰りが遅い私のために、主人が二日間晩御飯を作ってくれました。いくら私がいつもやっていることだとは言え、そこはすごく感謝しないとイケないところでした。「ありがとう。」とは言ったものの、気持ちがこもっていなかったかもと、すごく反省しています。もっと褒め上手にならないと。でも、私にももっとありがとうって言ってほしいな、と思います。「愛」が見えにくくなると、感謝の気持ちももてなくなるのか…。(以前、愛がなくなったのではなく感謝の気持ちが足らなっただけかと書きましたが、それは間違いでした。)ともあれ、真鍋さん夫婦を見習って、もっとお互い感謝できる関係を再構築していく必要があると感じた次第です。